

～We live to be happy by sharing things and feelings.～

そよかぜ 人権だより No.3

三重県立飯野高等学校
全日制 2020. 6. 22 発行



こんにちは、人権担当の須貝です。第2号では、新型コロナウイルスに関する差別等について考えてもらい、皆さんの意見やメッセージをお届けしました。飯野っ子の力強さ、優しさを言葉でも感じる事ができ、うれしく思いました。お互いが過ごしやすい学校・地域・社会を、皆で作っていけると良いですね。今回は、学校が再開し、皆と再会できたことを喜びながら、人権サークルメンバーと共にメッセージをお届けします。

◆◇「彩り」(いろどり)

私が高校1年生の3月に出会った曲の一部を紹介します。Mr.childrenの「彩り」という曲です。この曲が収録されたアルバム「HOME」のリリースから約13年が経ちました。人の心も社会も不安定な現代において、この曲に込められたメッセージは今を生きる私たちにもエネルギーを与えてくれるのではないのでしょうか。曲調も明るくさわやかで、おすすめです。

ただ目の前に並べられた仕事を手際よくこなしてく コーヒーを相棒にして
いいさ誰が褒めるでもないけど 小さなプライドをこの胸に勲章みたいに付けて

僕のした単純作業がこの世界を回り回って まだ出会ったこともない人の笑い声を作ってゆく
そんな些細な生き甲斐が日常に彩りを加える モノクロの僕の毎日に少ないけど赤黄色緑

……………中略……………

なんてことのない作業がこの世界を回り回って 何処の誰かも知らない人の笑い声を作ってゆく
そんな些細な生き甲斐が日常に彩りを加える モノクロの僕の毎日に増やしていく水色オレンジ

なんてことのない作業が回り回り回り回って 今僕の目の前の人の笑い顔を作ってゆく
そんな確かな生き甲斐が日常に彩りを加える モノクロの僕の毎日に頬が染まる温かなピンク
増やしていくきれいな彩り (Mr.children「彩り」)

何とも言えない不安やもどかしさを抱えるこの頃。聴いたことがある人も、聴いたことがない人も、ぜひこの曲を聴いて心のエネルギーをもらってください。私たちがしている一つ一つのことが、あなたがしてくれている一つ一つのことが、きっと誰かの笑顔を、幸せを、勇気を、つくっています。そうありたいですし、そうあってほしいですね。

～We live to be happy by sharing things and feelings.～

「わたしたちは、しあわせになるためにいきている。ものやきもちをわちあって・・・」

◆◇人権サークルメンバーより

初めまして。今回は、私が人権サークルに参加している理由を話したいと思います。

まず一つ目は、人権に関する活動を中学生の時から始め、そこから様々な知識を得た事で、この知識を、この人権に関する活動を止めるわけにはいかないと強く思ったからです。人権に関する活動はあるべきだと感じる私ですが、周りは皆「難しそう」「知識が無くてよく分からない」と人権問題を身近なものではなく、もっと漠然と「関わるかどうかかなあ」くらいのものと思っている節があると思います。私はそこに、「身近にもあるんだよ」と色々な人に幅広く発信していけるように自身も「にわか」にならぬように知識を蓄えて飯野高校の人権活動をする事に心掛けています。

二つ目は、私自身が人権問題の当事者であった経験があるからです。当時の事は「そんなことをこれていた」という事実があったことしか覚えていなくて、思い出そうとすると身体に少し異変が起きてしまうので深くどんなことをされたという事はお話しできませんが、当事者になったという経験から「どうしてこんなことが起こってしまうのか」「どうして加害者側はそんなことをしてしまうのか」という疑問が浮かび、「いじめ」という人権問題のことを調べていくうちに、他の子どもの人権問題についても興味をもって調べたことが、人権活動に関わろうとしたきっかけになりました。その時はまだ、子どもに関連した人権問題の事は知りませんでした。中学から始めた人権活動でそれ以外の人権問題についても知れたことで、私はこの人権に関する活動をもとに、「自分から情報を発信していく力」を身につけていかなければいけないなと思いました。

大まかに二つだけ理由を上げましたが、他にもごまごまとした理由があります。長くなりましたが、この私の「意志」が、皆様にミリ単位でも伝わって頂けたらなと感じると同時に、この人権活動を知って、興味を持って頂けたら幸いです。ありがとうございました。

